

(別添資料1)

事業所名

リズムジカ・アート

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和8

年

10月

1日

法人（事業所）理念		関わるすべてのお子さまの個性及び可能性を尊重し、発達段階に応じた支援を提供することで、自分らしく成長し、自信をもって社会生活を営む力を育成する。 あわせて、保護者との連携を重視し、家庭環境に配慮した支援を行う。										
支援方針		アート・音楽・英語・運動などの多様な体験活動を通して、一人ひとりの興味や関心、得意なことを見つけ、その子らしさを大切にしながら主体的に活動できる力を育てる。 お子さま一人ひとりの発達段階や特性、抱える課題に応じ、楽しさを大切にしながら主体的な参加を促し、心身・言語・社会性の発達を個別・または小集団で支援する。										
営業時間		10	時	0	分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	生活リズムや情緒の安定を大切に、安心して過ごせる環境の中で支援を行う。 アートを取り入れた活動を通して、身支度・休息・活動の切り替え等、日常生活に必要な基本的な生活習慣の獲得を促し、心身の健康の維持・向上を支援する。										
	運動・感覚	リズム運動や音楽活動を通して、身体の使い方やバランス感覚、協応動作の向上を図る。 感覚特性に配慮しながら、音・動き・テンポを活用した活動により、身体感覚や感覚統合の発達を促し、主体的な身体表現につなげる支援を行う。										
	認知・行動	アート・音楽・運動・英語・言語訓練を通して、考える力や理解する力、言葉と概念を結び付ける力を育む。色・形・数・文字などの認知を深めるとともに、自ら考えて選択・行動し、状況に応じて気持ちや行動を調整できるよう支援を行う。										
	言語 コミュニケーション	音楽・英語・言語訓練・遊びを通して、聞く力・話す力・伝える力を育む。発語や語彙、発音、会話力の向上を図るとともに、自分の思いや気持ちを言葉で表現し、相手とのやり取りを楽しめるよう支援を行う。										
	人間関係 社会性	アート・音楽・運動・集団活動を通して、人との関わり方や社会のルールを学ぶ。友達や支援者と協力する経験を積み重ねながら、自分の気持ちや相手の思いを大切に、役割や約束を守って安心して集団生活を送れるよう支援を行う。										
家族支援		保護者の不安や悩みに寄り添い、発達特性や行動の背景について丁寧に共有を行う。 家庭での生活リズムやコミュニケーションの取り方について助言を行い、無理のない関わり方を共に考えながら、保護者の心理的負担の軽減と養育力の向上を支援する。						移行支援		お子さまの発達段階や将来の生活を見据え、次の成長段階や集団生活への円滑な移行を支援する。 関係機関と連携し、支援内容や配慮事項を共有することで、環境の変化による不安の軽減と継続的な支援につなげる。		
地域支援・地域連携		地域の関係機関と連携し、お子さまの発達状況や支援上の配慮事項について共通理解を深める。 必要に応じて、会議や訪問等を通じた連携を行い、地域全体でお子さまの成長を支える支援体制づくりに努める。						職員の質の向上		内部研修や外部研修への参加を通じて、支援に必要な知識・技術の習得を図る。 また、日々の支援の振り返りやケース検討を行い、職員間で情報共有を行うことで、個々の支援力及びチームとしての支援力の向上を目指す。		
主な行事等		ハロウィン・クリスマス・親子向け研修、講習会など										